

中学生・高校生募集！！

SKC長野事務所は2020年の・・・これはSKC会員ニュース・令和7年第1号からの引用です。

このニュースの第1段落ではコロナ騒動から4年、昨年秋に指導対象を小学5年6年生まで拡大したことを書きました。第2段落では今年度は新年早々、東京の大学受験予備校が突然教室を閉鎖したことが大きく報道され、コロナの影響が学習塾業界の経営に及ぼした影響の大きさを実感し、SKC長野事務所も大きな影響を受けたことについて記述しました。そして今回、今年度の第1号会員ニュースのメインテーマ「オンライン個別指導」の部分を紹介いたします。(ホームページ参照)

コロナの影響で地方の塾でも大きな変化が起きています。オンライン授業の導入です。当事務所にも都内にある大手予備校のオンライン授業の紹介パンフレットが届きます。採用しないかというお誘いです。かねてからSKCで発信していることですが授業形式の指導は一律なので効果はあったとしても部分的です。直近では「名門会」からのお誘いがありました。

東京では実績のある家庭教師派遣の塾です。オンラインで個別指導が受けられるのです。個別で指導が受けられる点では、SKCと指導形態は同じなのでライバルです。一流

大学生講師と社会人プロ講師による「完全1対1オンライン個別指導」という触れ込みですが大学生

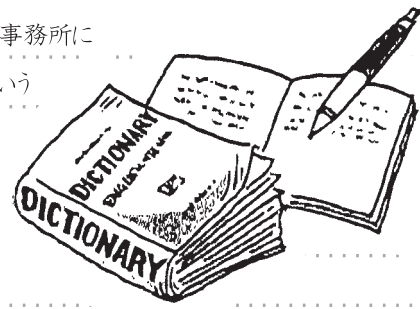
講師と社会人講師との差は歴然です。またプロ講師もレベルは様々です。(中略)オンライン指導、県内でも

導入されている塾もあるでしょう。「手取り足取り」という表現がありますが、中学生の段階では対面での指導が必須、

例えば提出ノートでのノートの使い方、新会員のノートを見ると3教科とも本当に「無駄」が多い。時間の浪費をしています。

詳細はHP上「中学生の窓」のトップで解説しています。毎日のことなので学習時間の短縮は効果絶大です。また英語の音声面

での指導においては対面の指導が絶対条件です。オンライン指導、映像での遠隔指導では限界があります。(下段に続きを掲載)



SKCの指導は、中学からの5年6年の一貫指導で難関大学を目指す指導です。一般の高校受験が目標の塾は定期試験重視です。よって試験直前には「テスト対策」と称して過去問を解かせています。確かに点数にはなる、それだけです。この問題を解く学習がいかにもむなしいか、特に英語と国語、長野・深志に入学した生徒たちは入学半年後、校内で実施されるハイレベル模試(駿台)を受けて実感するのです。SKCの中学生の指導目標は①定期試験で国語学年トップ②5教科では400点維持③高校入学までに古語500語獲得④英単語は大学入試共通テストの3000語レベルを達成⑤英文法は高校で履修の70%終了、以上主要5大目標です。数学は高校生になってから本格的に始めます。国語英語の指導で問題集を使うことはありません。問題を解いて読む力がつくなどあるわけがない、自明のことです。高校生も同様、国語力英語力は1にも2にも語彙力です。塾に通って語彙力がアップすることなどありえない、SKCの中学生高校生会員は日々国語・古語そして英語の辞書学習に取り組んでいるのです。昨年信州大医学部卒業の湯澤日南子さん、中1の春3月入会、高校入学までの2年間で国語古語英語の語句獲得数が合計で5000語を超えていました。高校入学までに達成のこの偉大な記録は現在でも「トップ」、光り輝いています。

実は1月の「共通テスト」終了後でしたが、浪人生の保護者から問い合わせの電話がありました。国立医学部を目指しているが、浪人生でも指導は可能でしょうか？浪人してオンライン講座を受講していたけれども・・・という相談です。可能ですがオンライン講座をやめることが条件です、とお答えしておきました。オンライン講座の実態についてのコメントはしませんでした。講師は実にうまく解説します。よくわかる、さすがプロ！確かに理科数学では理解が進み一定の効果はありますが、国語英語では授業が「わかる」と自分が「読める」こと(読解)では次元が違います。国語では地道に「語彙力」を強化し、読むトレーニングを重ねる以外に国語力UPの道はありません。さらに英語では「文法」の学習が加わります。文章の組み立てが瞬間的に理解できるようになったら、英語の語順で「訳さないで読む」トレーニングを続ける、やがて英文が訳さないで読めるようになる、これらの学習の「手順」をきちんと正しく説明できる講師は極めて少数、これが現実なのです。

◇ 東大・京大／早・慶・上智／国立・私立医学部受験 ◇

[個別訪問指導]・・・SKC長野事務所

<http://www.skc-nagano.jp>

〒399-0737 塩尻市大門八番町9-10

“SKC”への御案内

【中学・高校】

SKC長野事務所とは？ 平成元年9月、東京の大手予備校における受験指導を長野県の高校生にも提供しようということで“難関大学専門指導塾”として塩尻市に事務所を設置、これまでに東京大9名・京都大4名、国公立大医学部には20名が合格しています。医学部合格者の内訳は札幌医科大1・秋田大1・東北大1・筑波大1・千葉大1・東京大1・群馬大2・信州大6・富山大1・福井大1・名古屋大1・三重大1・京都大1・熊本大1、その他防衛医科大1また私立では慶應大・東邦大に各1名です。**指導は月2回、生徒の自宅を訪問しての“個別訪問指導”で、5教科の指導になります。**

ここでは、昨年2024年の県内主要4校の東大京大、そして国立医学部医学科の現役合格者数を確認して問題点を考えてみましょう。長野県でも平成の30年そして令和になり6年、進学実績向上に向けて様々な努力がなされてきました。屋代高校と諏訪清陵高に中学が併設され中高一貫指導となり10年が経過しましたが単に高校受験がないというだけで難関大学受験での進学実績の向上にはつながっていません。昨年度の屋代高校と諏訪清陵高の東大京大現役合格者は両校とも東大1京大1、国公立医学部医学科は5名と4名です。長野高と松本深志高の東大京大の現役合格者は東大が2名と4名、京大は3名と2名、国公立医学部医学科は10名に7名、以上4校での医学部医学科合格者は合計すると26名、この大半は信州大学医学部の県内枠での合格者で、県外の医学部医学科合格者はほとんどいないのです。

その県内枠での入試は校内推薦を獲得する必要があるために定期試験重視の「暗記学習」になる、一般受験に対応できる「真の学力」が養成されないのです。信州大学医学部の学校推薦の枠は推薦入試が始まった当初の各校5名から、現在は倍増され10名になっています。県内枠も募集定員120名中35名に拡大しているのです。そして推薦入試は二次試験が免除、また一般受験では一次試験で9割得点が必要ですが推薦入試は85%で合格、これが県内の生徒の合格ライン、楽です！推薦を獲得したい、上記の4校では校内で希望者が最低でも30名、40名50名いるのではと思います。3年間の定期試験の成績で決まります。よって希望者は定期試験重視の「点数獲得競争」をすることになるのです。そこで問題は・・・推薦を獲得できなかったときには医学部挑戦を諦めなければならない、これが大問題です。SKCの指導では信州大学医学部医学科を希望している場合は推薦獲得も意識はするが、一般受験で対応できる学力を目標に準備をする、イメージとしては一般受験と推薦獲得の比重を7対3、これくらいの意識で日々の学習に取り組む指導となります。

信州大医学部、過去に浪人生も含め6名合格していますが、推薦入試での合格は表面で紹介しました湯澤さんだけです。湯澤さんが受験した当時は推薦枠5名の時代ですので、松本深志高校入学の当初は5名の枠に入ることなどとも無理という判断で、一般受験での合格を目指して高校の指導がスタートしました。このあたりのことに関しては、卒業時に湯澤さんのお母さまに「指導の感想」を書いていただきホームページ保護者の感想欄に掲載しました。高1の時点では定期試験の成績は校内で50番から100番くらいでしたので推薦など全く考えていませんでしたが高2になって成績が大きく伸びてきて、以後高3でもトップ10を維持していましたので「もしかしたら・・・」ということで推薦を志願したところ、選ばれてしまったということです。何とか5番目で・・・の印象です。推薦入試の合格は学校で知らされたのですが、深志高合格者5名の中で当時はセンター試験と呼んでいましたが「トップ」の成績だったそうです。9割得点をしていました！お見事です!!

「**衝撃!!**」長野高の東大現役合格者2名、SKCではかねてから中学での学習に問題があると発信してきましたが、中学で上位の生徒たちの意識が変わることはありませんでした。県内の2024年の東大現役合格者は全県で11名、それでも10名程度はいるのです。この生徒たちは中学でどのような学習をしていたのでしょうか？高校入学時に英語は高1高2の教科書が終了のイメージで、塾通いの生徒たちとは大きな差がついています。京大入試では文系理系とも数学の得点で合否が決まる印象ですが、東大入試では圧倒的に英語力です。オンラインの授業ではどうにもならない・・・

東京・武蔵野にて——橋本 淑人

■受付日時

2月23日(日)～2月25日(火)
2:00PM～7:00PM

小学生の英語体験指導を始めましたのでお尋ね下さい。

■お問い合わせ

☎0263-53-3874

SKC長野事務所 〒399-0737 塩尻市大門八番町9-10